

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

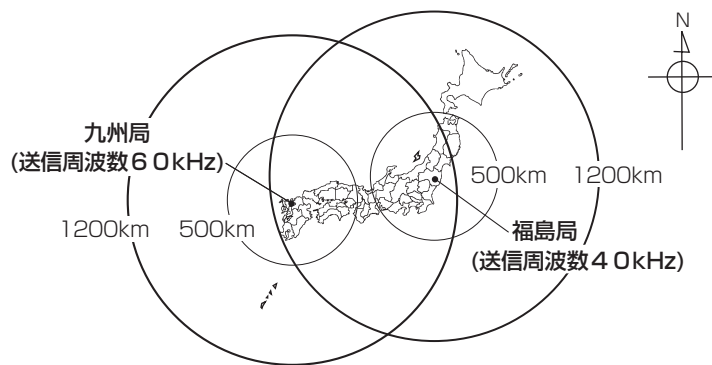
日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

○日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を停止させてください。「3. 電波受信スイッチ」参照。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



ビルの地下など



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



家電製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。



朝夕の時間帯、雨天のとき

ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。
禁止 注意 機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する所。空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

禁止 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

強制 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

アルカリ電池について

- 電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池一般について

注意 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- +(プラス)、-(マイナス)を逆に入れしないでください。
- 指定された新しい電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

CITIZEN.

電波時計 (置時計) 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に修正
電池の交換時期をお知らせします

- ご購入ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。
取扱説明書番号 R149-CXXZ

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品(電子回路、歯車等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。
- 修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合**
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、**時計裏面等に表示してある製品番号をお伝えください。** 例 4RY○○○

お問い合わせ先

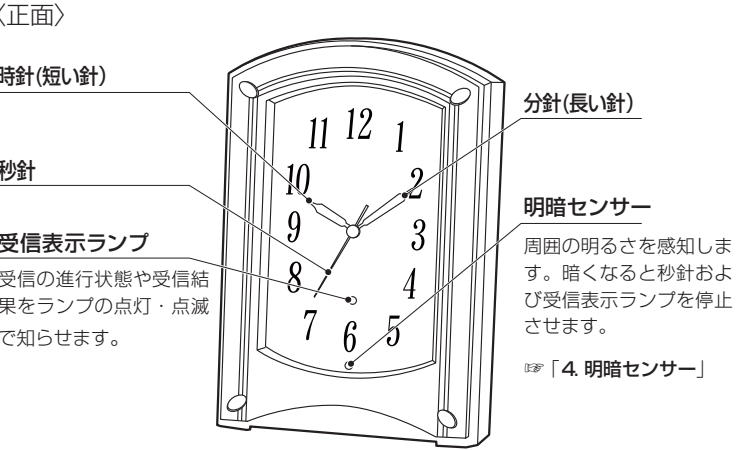
■お客様相談室 **フリーダイヤル ☎0120-557-005**
受付時間 9:00 ~ 17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

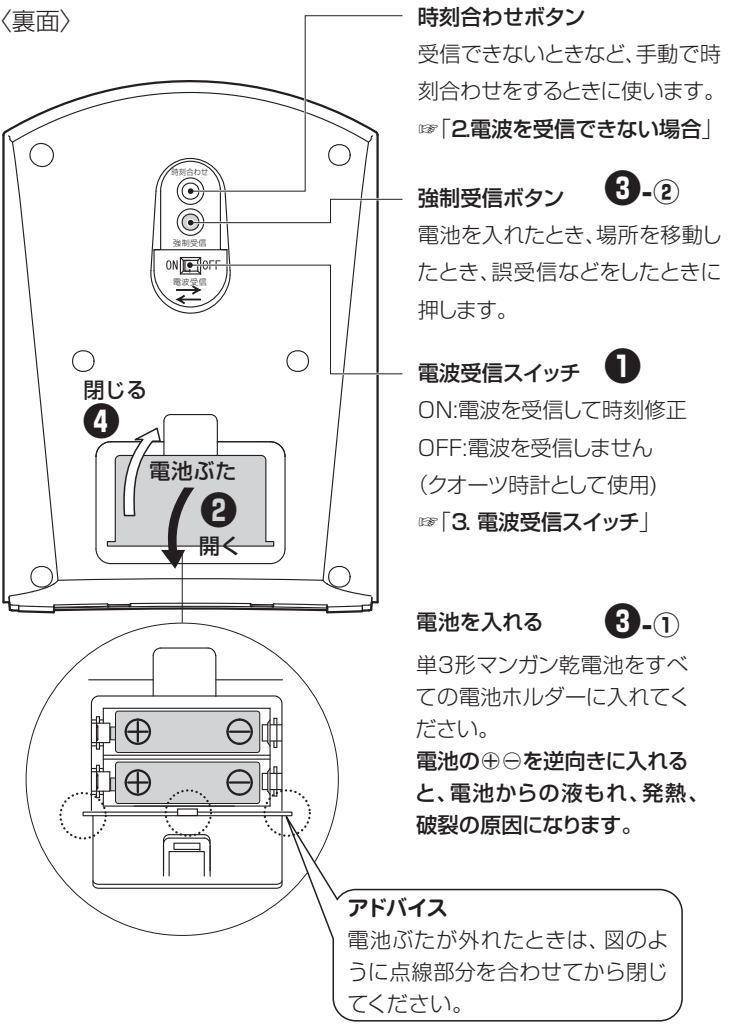
1. 電波を受信させて時刻を合わせます

●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なる場合があります。



… 時針・分針の動き …
 自動修正：早送りで順方向に動きます。停止することがあります。
 通常表示：10秒単位に動きます。

… 秒針の動き …
 自動修正：早送りで順方向に動きます。また、12時位置に停止することがあります。
 通常表示：1秒ステップで動きます。



時刻合わせボタン
 受信できないときなど、手動で時刻合わせをするときに使います。
 ③「2. 電波を受信できない場合」

強制受信ボタン ③-②
 電池を入れたとき、場所を移動したとき、誤受信などをしたときに押します。

電波受信スイッチ ①
 ON:電波を受信して時刻修正
 OFF:電波を受信しません(クォーツ時計として使用)
 ③「3. 電波受信スイッチ」

電池を入れる ③-①
 単3形マンガン乾電池をすべての電池ホルダーに入れてください。
 電池の⊕⊖を逆向きに入れると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

アドバイス
 電池ぶたが外れたときは、図のように点線部分を合わせてから閉じてください。

手動で時刻合わせをするときは、「2. 電波を受信できない場合」の「手動での時刻合わせ」をご覧ください。

○窓際などに置くと標準電波を受信しやすくなります。

- ① 電波受信スイッチをONにする
- ② 電池ぶたを開ける
- ③ 電池を入れ、強制受信ボタンを押す

①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。電池はすべて入れてください。
 ②強制受信ボタンを押してください。
電池を入れた後は必ず押してください。

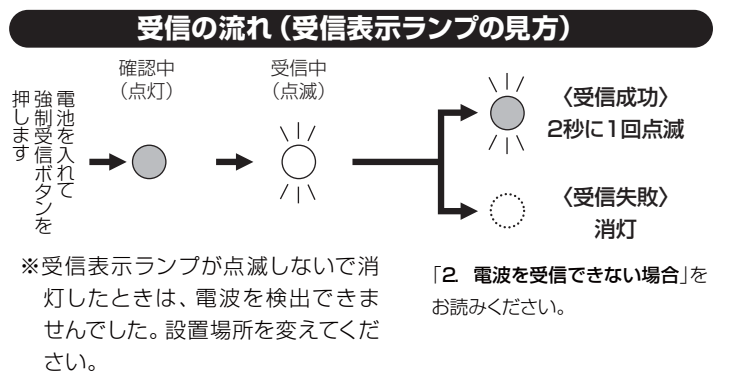
○時計、分針および秒針は停止したままですが、故障ではありません。

○受信状態となり、受信表示ランプが点灯し、その後点滅します。
 ③「受信の流れ(受信表示ランプの見方)」参照。
 ※受信中は、ボタン類を操作しないでください。
 ※電池を交換するときは、すべて指定の新しい電池を使用し、強制受信ボタンを押してください。

- ④ 電池ぶたを閉じる
- ⑤ 電波受信の結果を確認する

受信には最長15分程度の時間がかかります。受信終了後、早送りで時針・分針・秒針が動き、時刻を指します。

受信成功: 2秒に1回点滅 → 正しい時刻
受信失敗: 消灯 → 不正確な時刻
 ③「2. 電波を受信できない場合」に進む
 ※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。



電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具などに損傷を与えます。時計が止まったら、電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

2. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合は3通りの対処方法があります。

- ① 翌朝まで待つ
 一般的に夜間は電波の受信がしやすくなりますので、翌朝まで様子を見ます。受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。
- ② 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置
 窓際など比較的電波を受信しやすいところで、送信所の地図を参考にして、時計の正面または裏面が送信所の方向に向くように設置し、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。
- ③ 時刻を合わせて使用する
 ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時刻精度はクォーツ精度になります。
 ※電波受信スイッチをONの状態でも、電波を受信しにくいところを使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作して任意の時刻に合わせることができず。
 ●ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
 ●電波受信スイッチがONの状態でも、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。
 ●手動で時刻を合わせると時間精度はクォーツ精度になります。

時刻合わせボタンの操作
 ○時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。
 ○時刻合わせボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。
 ※秒針は時刻合わせボタンを押している間、“0 秒”に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

3. 電波受信スイッチ

電波受信スイッチをOFFにしますと、電波の受信を行わないで、クォーツ精度で時刻を表示します。受信できない場所や誤受信しやすい場所、意図的に表示時刻を変えてお使いになるときにOFFにします。

○受信に成功した状態で、電波受信スイッチをOFFにしてから24時間以内は、受信表示ランプが点滅することがあります。
 ○OFFのとき、電池を入れるまたは強制受信ボタンを押すと、電波受信スイッチがONのときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信を行わないで時刻の表示になります。

電波受信スイッチOFFでの電池交換

すべての電池を交換し、強制受信ボタンを押してください。電波受信スイッチがONのときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。その後、必要に応じて、手動で時刻合わせをしてください。

4. 明暗センサー

時計周囲の明るさを感知するセンサーが付いています。これにより、暗くなると受信表示ランプを消灯し、秒針を12時位置に停止させ、明るくなると早送りして現在時刻の秒位置に移動します。このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで動くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが動くことがあります。

おもな製品仕様

自動受信による時刻修正回数について

標準電波を受信する回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

	受信回数
● 受信成功から72時間以内の場合	最少 1回/日 最多 3回/日
● 連続72時間以上受信に失敗している場合 ● 初めから受信に失敗している場合 ● 手動で時刻合わせをした場合	12回/日

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示精度(受信直後) 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒 (常温でのクォーツ精度)
使用温度範囲	-10℃~+50℃
使用電池	単3形マンガン乾電池 (JIS規格 R6P) 2個
電池寿命	約1年
その他	電波受信確認用ランプ、電波受信スイッチ 明暗センサーによる暗所での秒針・受信表示ランプ停止

- この時計はマンガン乾電池の特性に合わせて設計されています。松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は適していません。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの不具合が発生することがあります。
- 付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
- 電池寿命は、電波を正常に受信して明暗センサーにより、1日7時間、秒針が停止しているときのものです。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形マンガン乾電池	2 個	取扱説明書	本書
		保証書	1 枚